

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 慶應義塾高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒223-0061

横浜市港北区日吉4-1-2

E-mail : furukawa@a7.keio.jp

Website : http://www.hs.keio.ac.jp/

児童生徒数：男子 2162名 女子 _____名 合計 2162名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

この一年間の本校でのユネスコ・スクールとしての活動は、徐々にひとつひとつ活動を多角化させていった時期と位置付けられます。本校においてもユネスコ担当教員は1名と小規模ですが、国際交流委員会が設置され、70周年事業の一環として、国際交流が学校の基幹事業に位置付けられました。

今年度は申請時と同様、卒業論文指導において活動を続けています。そこでは教員の特性や専門に応じた学際的なクラスが設置されており、ゼミ形式の授業を通じて、ゼミのなかには福祉（福祉施設見学）や環境問題、国際協調、異文化理解（イスラム）を扱うものもあり、プログラムは多岐にわたるなかで、生徒には問題を発見し、仮説を立て、その問題の解決方法を論理的に構築し、検証するよう指導に努めています。

また今年度は初めて、生徒会活動の一環として、森林整備士のアドヴァイスのもとに横浜市港北区の日吉地区蝮谷の森の植林活動を行いました。

加えて、本校教諭1名が韓国教職員派遣プログラム（2013年8月ソウル）に参加し、交流事業に参加いたしました。またそれに対応するかたちで、本校でも歴史上初めてといえる大規模の皆様をお迎えし、2014年1月21日に韓国から来日されている教職員、通訳、ユネスコスクール職員の方々34名をお迎えし、交流いたしました。

今後、より事業を多角化しつつ、改善しつつ、取り組んでまいり所存でございます。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()